



AWS  
**Black Belt**  
Online Seminar

# 【AWS Black Belt Online Seminar】 Amazon Chime

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社  
ソリューションアーキテクト 渡邊源太  
2017.3.8

# AWS Black Belt Online Seminar とは

AWSJのTechメンバがAWSに関する様々な事を紹介するオンラインセミナーです

## 【火曜 12:00~13:00】

主にAWSのソリューションや  
業界カッタでの使いどころなどを紹介  
(例：IoT、金融業界向け etc.)

## 【水曜 18:00~19:00】

主にAWSサービスの紹介や  
アップデートの解説  
(例：EC2、RDS、Lambda etc.)



※開催曜日と時間帯は変更となる場合がございます。

最新の情報は下記をご確認下さい。

オンラインセミナーのスケジュール&申し込みサイト

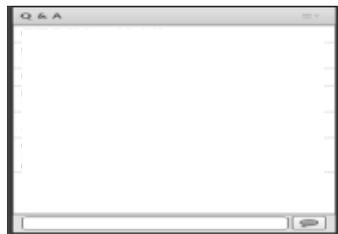
– <https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/webinars/>

# AWS Black Belt Online Seminar へようこそ！

質問を投げることができます！

- ❏ Adobe ConnectのQ&Aウィンドウから、質問を書き込んでください。  
(書き込んだ質問は、主催者にしか見えません)
- ❏ 今後のロードマップに関するご質問はお答えできませんのでご了承ください。
- ❏ Twitterへツイートする際はハッシュタグ **#awsblackbelt** をご利用ください。

①Q&Aウィンドウ  
右下のフォームに  
質問を書き込んで  
ください



②吹き出しマークで  
送信してください

# 内容についての注意点

- 本資料では2017年3月8日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

# 目次

- Amazon Chimeとは
- エンドユーザーによる利用
- 管理者向け機能
- AWSのビジネスアプリケーション
- まとめ



INTRODUCING



amazon

Chime

# 現在のコラボレーションの課題

## 多すぎるツール

適切な選択  
使いにくさ  
信頼性の不足  
高価

## 機能しないモバイル

機能性の低下  
遅いユーザーインター  
フェイス  
運転時の危険性  
一時的なネットワーク  
デバイスのスイッチ

## 非効率なミーティング

ミーティングの予定は?  
PIN  
スタートの遅れ  
誰が参加している?  
聴きづらさ  
どうやってビデオを有効に?  
ビデオのフリーズ

## 組織の壁

従業員  
候補者  
見込み客  
顧客  
サプライヤー  
パートナー

# Amazon Chime



## オンラインミーティング

カンファレンスコール  
画面共有  
リモートコントロール



## ビデオカンファレンス

ワンクリックでスタート  
ラップトップとモバイル  
ルームベースのビデオ



## ビジネスチャット

インスタントメッセージング  
プレゼンス  
チャットルーム



## アドミニストレーション

従量課金  
Webコンソール  
AWSセキュリティ  
AWSサポート

# クライアント



## デスクトップ

Windows  
Mac  
Web



## モバイル

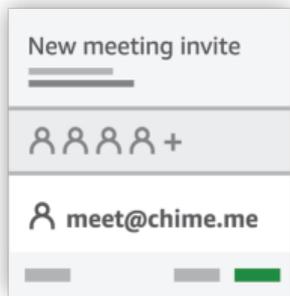
iPhone  
Android  
iPad



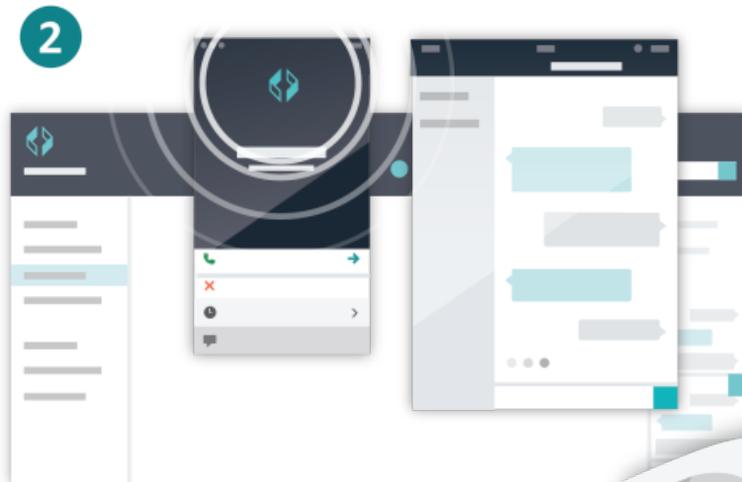
## レガシー

Telephone  
In Room Video

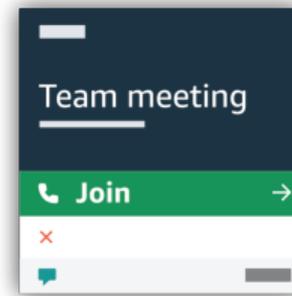
1



2



3

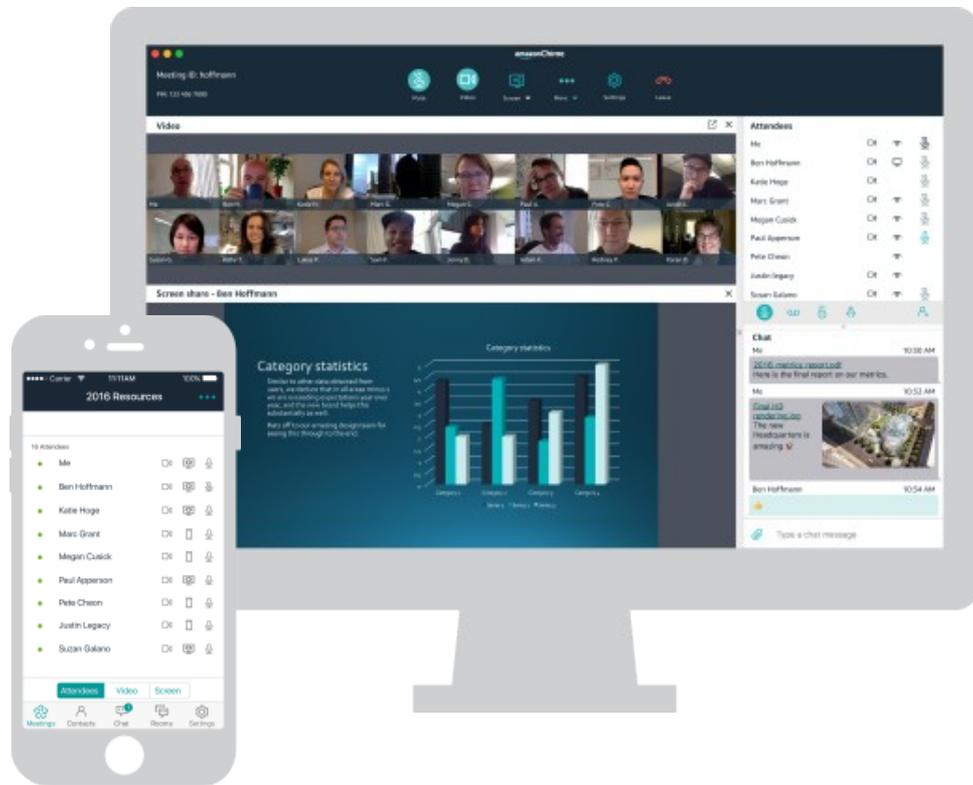


Organizer's conference bridge

- 1 Chimeが meet@chime.me へのインビテーションを確認してミーティングを作成
- 2 オンラインデバイスへのインビテーションがChimeから「コール」される
- 3 ユーザーが参加

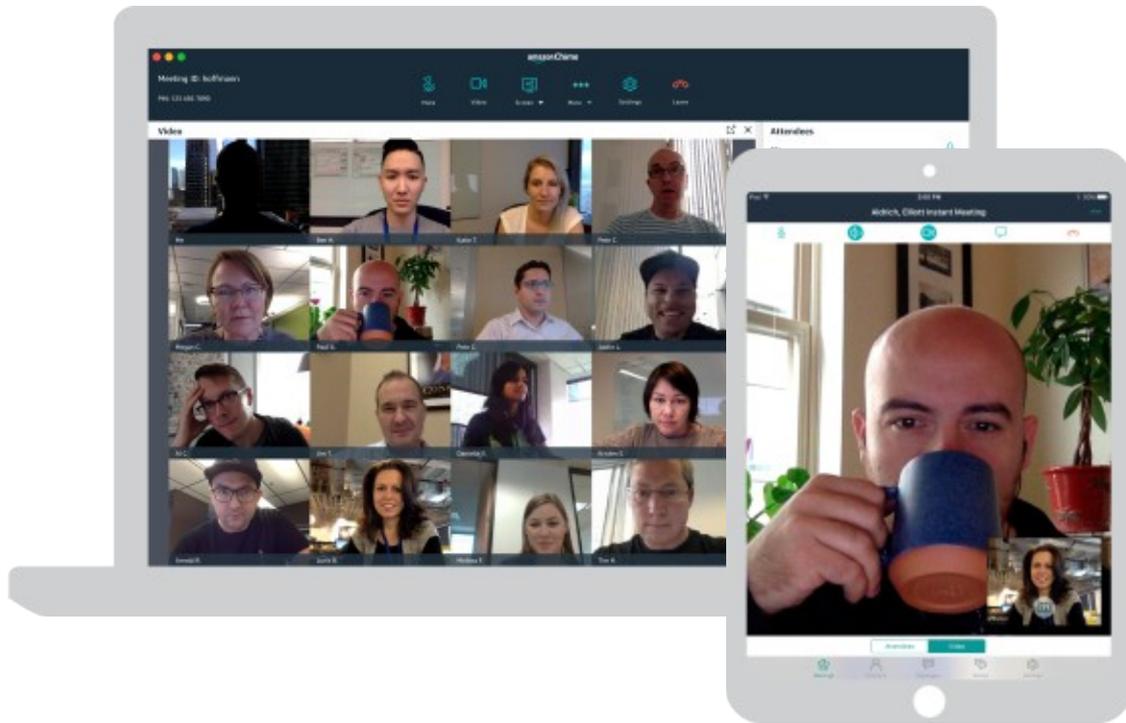
# ミーティング機能

- オンラインリスト
- ボリュームコントロール
- リモートミュート
- 録画
- ロック
- ウィンドウ共有
- 画面共有
- パーソナルリンク (chime.aws/name)
- イベントモード
- 容易なデバイス切り替え



# ビデオカンファレンス

- ワンクリックビデオ
- デスクトップ上に16画面のビデオ
- モバイル上に8画面のビデオ
- ビデオサイドバー
- ピクチャ・イン・ピクチャ
- Polycom, Ciscoなどのルームベースのビデオシステムとの互換性



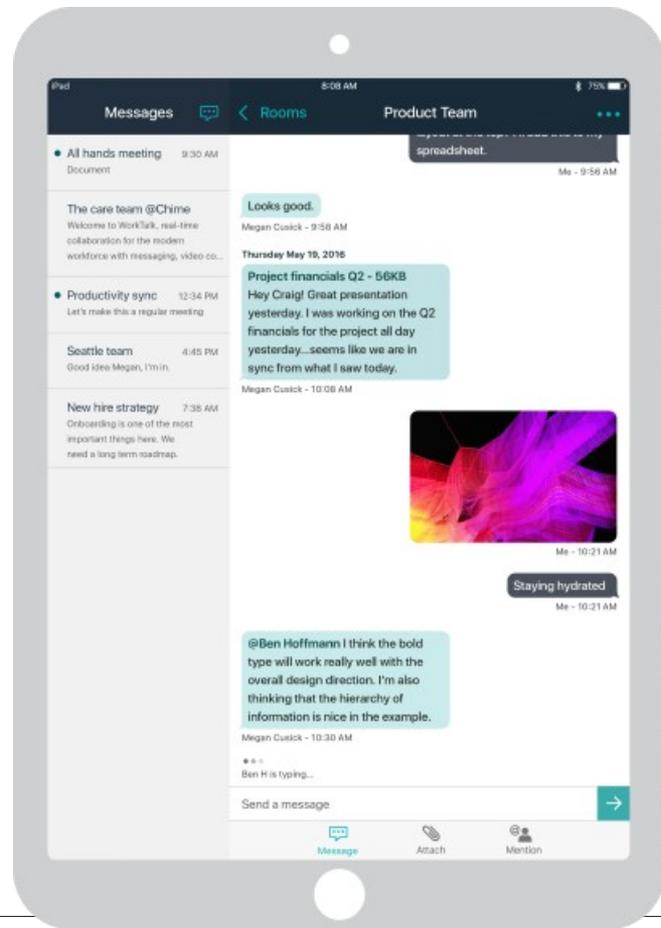
# オーディオエクスペリエンス

- カスタムのVoice over IP (VoIP) テクノロジー
- 高精度なサウンド品質
- 極端に貧弱なネットワークに対応 (3G, Wi-fi)
- サウンドロスによる言い直しの必要を最小化
- ネットワーク切断時に自動的に再接続
- モバイル帯域の消費を最小にするように最適化
- 80カ国以上の有料・無料通話番号



# チャット

- 2人またはグループチャット
- チャットルーム
- 永続的なチャット
- デリバリと既読の確認
- 統一されたデスクトップとモバイル
- 在席確認
- @メンション
- 絵文字
- 添付ファイル



# 単一のアプリー レガシーなアプリケーションの廃止



*mazon Chime*は、オンラインミーティング、通話、チャットなど、すべてのデバイスで利用できる単一のアプリケーションを提供しています。

社内登録がはじまれば、今まで使用していた複数のレガシーアプリケーションを廃止することができます ”



# Stay connected - 既存のハードウェアを使用



*Amazon Chime*は、私たちのグローバルチームをつなぎ続けます。 *Amazon Chime*では、ミーティングの生産性が向上し、エンジニアリングチームとの日常的なスタンドアップが楽しくなります。

*Amazon Chime*は*Lifesize*会議室のビデオシステムと連携しています。 *Amazon Chime*は現在、私たちのコミュニケーション戦略に不可欠です



# エディション

- Basic Edition
  - 無料
  - ミーティングへの参加、1対1のビデオカンファレンス、すべてのチャット機能
- Plus Edition
  - \$2.50/月
  - 電子メールアドレスの管理、ユーザーあたり1GBのメッセージ保存、Active Directory接続
- Pro Edition
  - \$15.00/月
  - 100人まで参加のミーティングのスケジュールとホスト

※30日間の無料お試し期間をクレジットカードなしで提供

# エディションの詳細

機能	Basic	Plus	Pro
チャット (1:1 と Room)	Yes	Yes	Yes
1:1 音声とビデオコール	Yes	Yes	Yes
画面共有		Yes	Yes
ミーティングのスケジュールとホスト (最大で100人の参加者)			Yes
ミーティングの録画			Yes
80カ国以上のPSTNダイヤルイン			Yes
カンファレンスルームビデオシステム			Yes
アドミニストレーション	Basic	Plus	Pro
ユーザー管理		Yes	Yes
Active Directory		Yes	Yes
保管	30日	1 GB/ユーザー	1 GB/ユーザー
価格	Basic	Plus	Pro
シート数 (ユーザー1ヶ月単位)	無料	\$2.50	\$15.00
PSTN (参加者1分あたり)			chime.aws/dialinrates

# 目次

- Amazon Chimeとは
- エンドユーザーによる利用
- 管理者向け機能
- AWSのビジネスアプリケーション
- まとめ

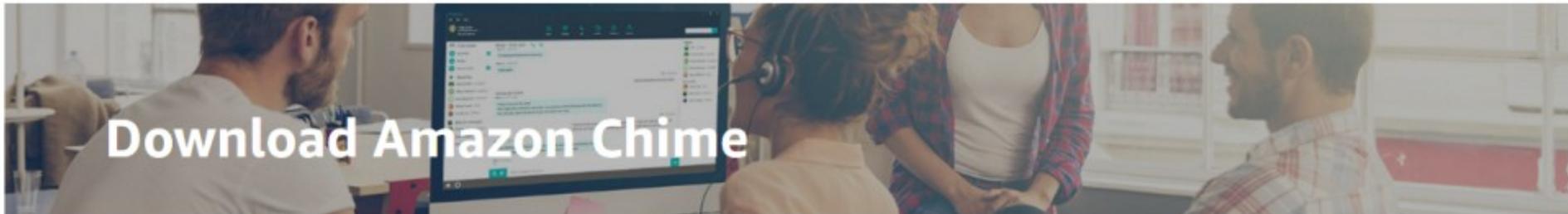


# 前提条件

- Windows
  - Windows 7/8.1/10 32bitおよび64bit
- Mac OS
  - OS X 10.10以降
- Android
  - Android OS 3.0以降 ※Kindle Fireタブレットは未サポート
- iOS
  - iOS 9.0以降
- ブラウザの前提条件
  - Internet Explorer 9/10/11およびMicrosoft Edge
  - Firefox 48以降
  - Chrome 54以降

# Amazon Chimeアカウントの作成

- Amazon Chimeクライアントのダウンロード
  - <http://chime.aws/download>
- Amazon Chimeクライアントを起動し、**Sign in/Sign up**からメールアドレスを入力
- **Login with Amazon, Create a new Amazon account**を選択
- 名前とメールアドレス、パスワードを入力して**Create your Amazon account**を選択
- **I agree**を選択してAmazon Chimeで使用するAmazonアカウントにアクセス許可を付与し、メールをチェックして**Verify Me**を選択



# Download Amazon Chime

**Amazon Chime Pro is free to try for 30 days, with no credit card required.**

After 30 days, you can continue to use Amazon Chime Basic for free, for as long as you'd like, or you can purchase an Amazon Chime subscription.



Amazon Chime for iOS



Amazon Chime for Android



Amazon Chime for Mac OS X

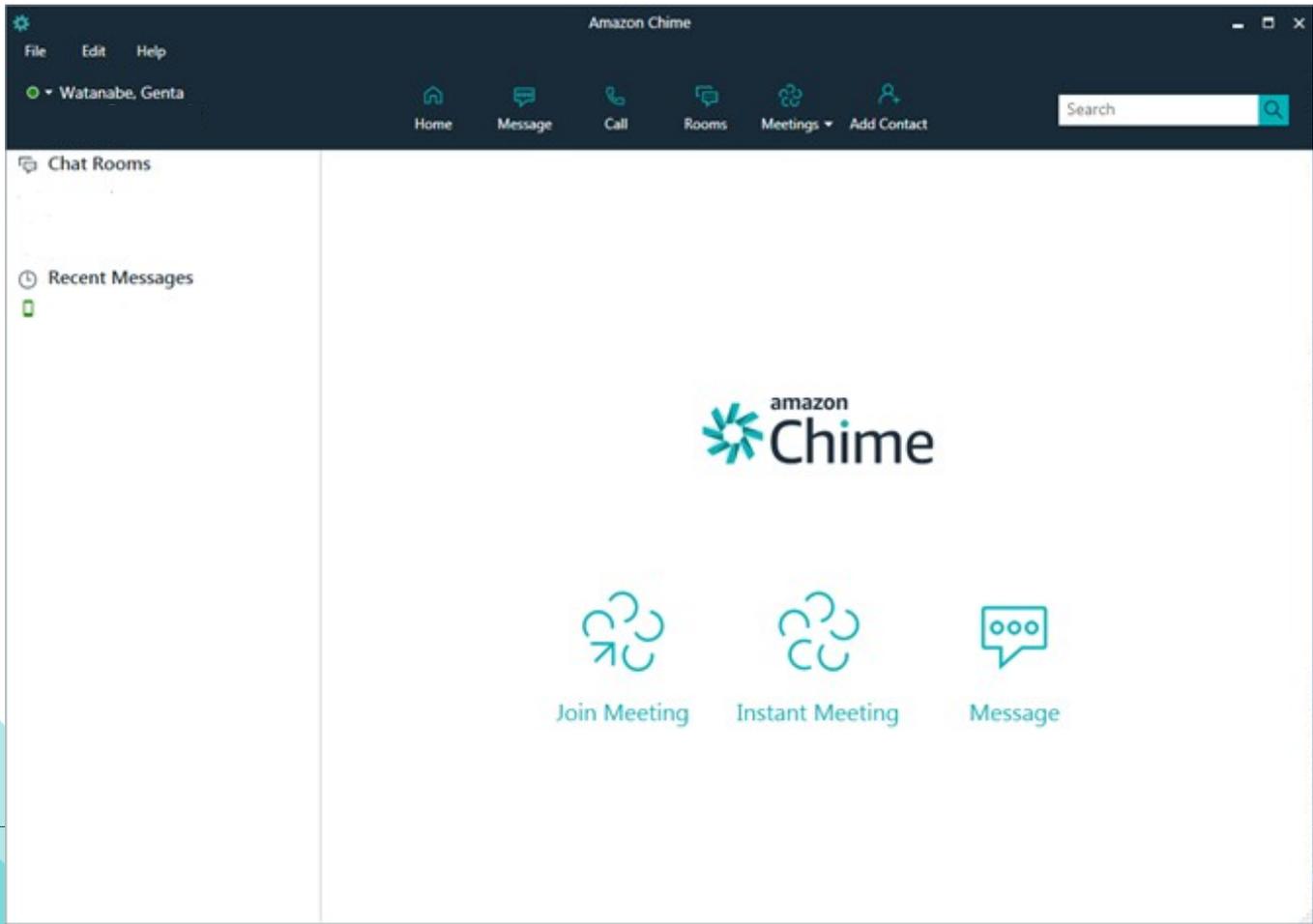
DOWNLOAD



Amazon Chime for Windows

DOWNLOAD

# ユーザーインタフェース



# ミーティングのスケジュール

- OutlookまたはGoogleカレンダーと連携したスケジュールが可能
- Inviteリストに [meet@chime.aws](mailto:meet@chime.aws) をふくめることでミーティング開始時に自動的に通知させることができる
- ミーティングの情報をコピーして参加者に通知

The screenshot shows a 'Schedule Meeting' window with the following content:

- Select the calendar application you use:** A dropdown menu with 'Other' selected. A sub-menu is open showing 'Outlook Calendar', 'Google Calendar', and 'Other' (highlighted).
- Meeting Settings:**
  - Provide dial-in numbers
  - International
  - Select the ID to use:**
    - Personal Meeting ID
    - One-time Meeting ID
- Steps to Schedule a Meeting:**
  1. Create a new meeting in your calendar application.
  2. Add **meet@chime.aws** as an attendee to your meeting. Copy
  3. Copy and paste the instructions below into the meeting invitation.
- 1. Click to join the meeting:**

`https://chime.aws/`

Meeting ID:
- 2. You can use your computer's microphone and speakers, however, a headset is recommended. Or, call in using your phone: Copy

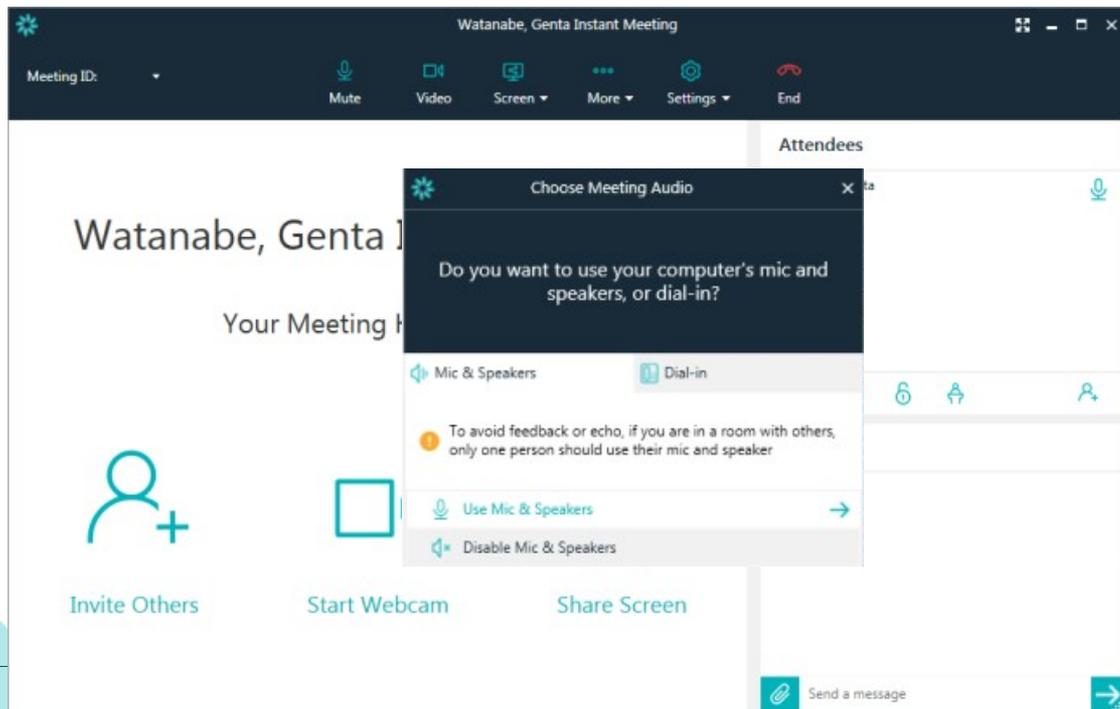
At the bottom, there is a 'Done' button and a help icon.

# Meeting IDの選択

- Personal Meeting ID
  - 個人ごとに設定可能なPersonal Linkを使用
  - リンクがわかれば誰でも参加できるため機密性の高いミーティングには不向き
- One-time Meeting ID
  - ミーティングごとに固有のリンクを作成

# ミーティングへの参加

- 参加者リスト、ビデオおよびスクリーン共有と録画、チャットなどの機能が利用可能

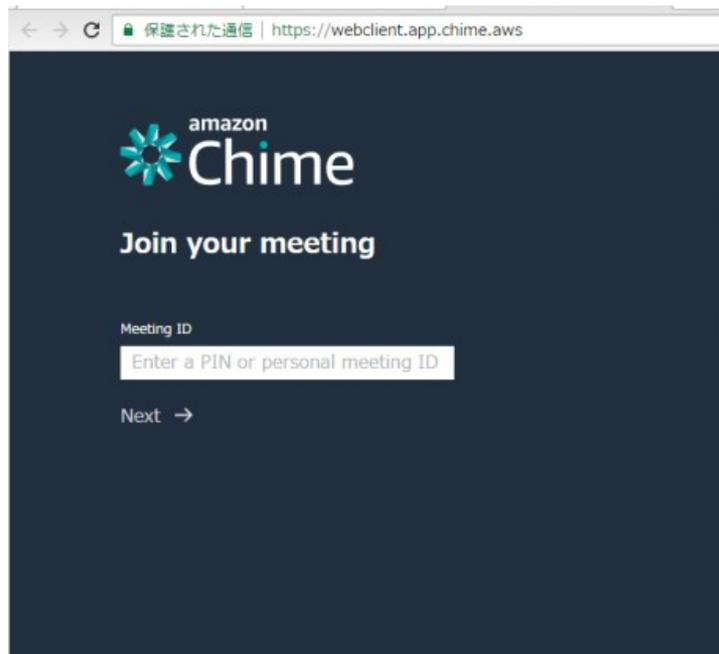


# ミーティングへの参加

- オーディオ設定
  - マイクとスピーカーが備えられている大きな会議室や電話からミーティングに参加する場合はダイヤルインが可能
- スクリーン共有機能
  - Windows/MacデバイスまたはIn-Room Video Systemからスクリーンの共有が可能
  - Webブラウザからプラグインなしで共有された画面を視聴できる
- ビデオ機能
  - Windows/Mac/iOSデバイスまたはIn-Room Video Systemから利用可能

# Webブラウザからのミーティング参加

- Amazon ChimeアカウントがなくともWebブラウザからミーティングへの参加が可能
- <http://chime.aws>からJoin Meetingを選択してMeeting IDを入力
- Amazon Chimeクライアントからもアカウントなしでのミーティング参加ができる



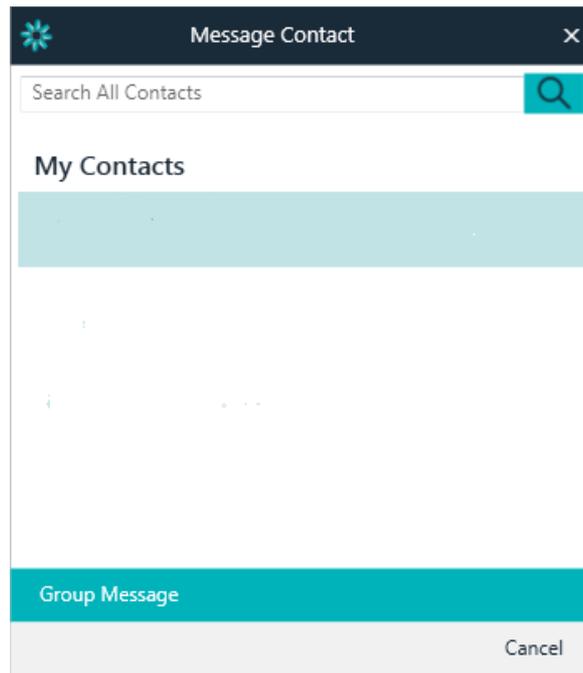
# In-Room Video Conference Systemからのミーティング参加

- Cisco/Tandberg/Polycom/Lifesize/ViewdyoなどのIn-Room Video Conference Systemからミーティングに参加が可能
  - In-Room SystemからVideo Conferenceを選択
  - Amazon Chime H.323ブリッジにダイヤル
  - 10桁のPINに続けて、“#”を入力
  - 画面を共有する場合は、ノートPCを接続してコンテンツ共有を有効化



# チャットによるコラボレーション

- 1 on 1チャット
  - メールアドレスで検索が可能
- グループチャット
  - 最大50人までのチャットに対応
- チャットルーム
  - チャットルームの作成・削除およびメンバーの追加・削除



# 目次

- Amazon Chimeとは
- エンドユーザーによる利用
- 管理者向け機能
- AWSのビジネスアプリケーション
- まとめ



# Amazon Chimeアカウントの種類

- Amazonアカウント
  - AWSアカウントの取得は不要
- チームアカウント
  - ドメインの登録なし
  - 任意の電子メールアドレスドメインのユーザーを招待することが可能
- エンタープライズアカウント
  - 自社のドメインを登録
  - Active Directoryとの連携をサポート

# チームアカウントの作成

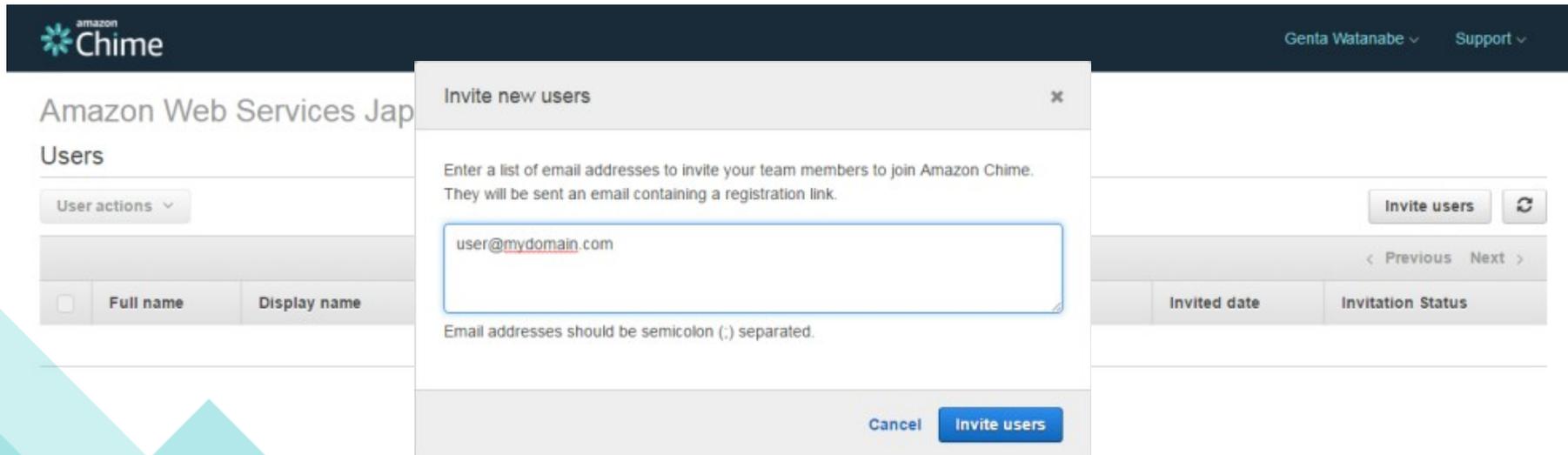
- AWSマネージメントコンソールから**Amazon Chime**を選択
- **Account Name**を入力し、**Account Type**で**Team**を選択
- **Create Account**を選択してアカウントを作成

# エンタープライズアカウントの作成

- チームアカウントを作成後、以下のステップでドメインを申請
  - AWSマネージメントコンソールから**Amazon Chime** → **Support** → **Submit Request**を選択
  - 以下の情報を入力
    - 氏名/役職
    - メールアドレス
    - 組織内のメールアドレスで 사용되는ドメイン
  - Amazon Chimeサポートチームがリクエストに応じてドメインを登録する

# Amazon Chimeユーザーの管理

- マネージメントコンソールからユーザーの招待、削除、停止、ProライセンスおよびPINの管理が可能



The screenshot displays the Amazon Chime console interface. At the top left, the 'amazon Chime' logo is visible. The main header shows 'Amazon Web Services Japan' and 'Users'. A 'User actions' dropdown menu is present. The background shows a table with columns for 'Full name' and 'Display name'. A modal dialog box titled 'Invite new users' is open in the center. It contains the following text: 'Enter a list of email addresses to invite your team members to join Amazon Chime. They will be sent an email containing a registration link.' Below this is a text input field containing 'user@mydomain.com'. A note at the bottom of the dialog states 'Email addresses should be semicolon (;) separated.' The dialog has 'Cancel' and 'Invite users' buttons. In the background, there is an 'Invite users' button with a refresh icon, and a table with columns for 'Invited date' and 'Invitation Status'.

# ユーザーの招待

- チームアカウントへユーザーを招待するには
  - AWSマネージメントコンソールから**Invite users**を選択した画面でユーザーのメールアドレスを入力し、**invite users**を選択する
- エンタープライズアカウントへユーザーを招待するには
  - 招待したいユーザーに個別にメールで通知し、ユーザーがAmazon Chimeアカウントを作成すると**User**リストに追加される
  - 登録したドメインのメールアドレスを指定する必要がある

# 目次

- Amazon Chimeとは
- エンドユーザーによる利用
- 管理者向け機能
- AWSのビジネスアプリケーション
- まとめ

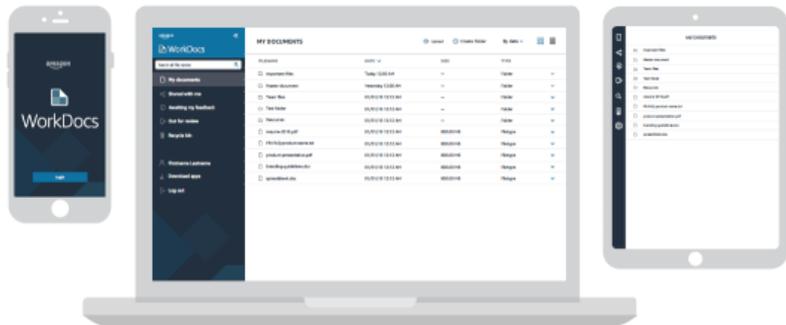


# AWSのビジネスアプリケーション

amazon

WorkDocs

amazon  
WorkMail



セキュアなエンタープライズドキュメントの  
ストレージおよび共有



セキュリティに優れたEメールとカレンダー

amazon

 WorkDocs

# Amazon WorkDocsのメリット

## ユーザーのメリット:

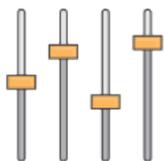
- シンプルさ
- どこからでも、いつでもアクセス
- オフラインアクセス
- リアルタイムコラボレーション

## IT管理者のメリット:

- エンタープライズグレードのセキュリティ
- 低コスト
- 管理の容易さ
- スケールとアジリティ
- エンタープライズアプリケーションやツールとの統合が可能



# Amazon WorkDocsアップデート

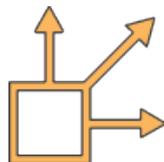


- デフォルトストレージ容量が1TBにアップグレード

- WorkDocs Webクライアントのユーザーエクスペリエンスを改善し、コメント機能を強化



- WorkDocs同期クライアントのアップデートにより、同期ステータスの通知とパフォーマンスの向上



- Administrative SDKのパブリックプレビューが利用可能に

# デフォルトストレージ容量が1TBにアップグレード

- 従量課金
- ユーザーや期間のコミットメントなし
- 無料試用期間- 50ユーザーを30日間
- S3の料金でストレージの拡張が可能



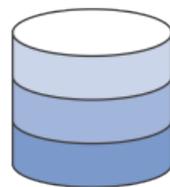
**1TB**

\$7/user/month



**1TB**

\$3/user/month for  
WorkSpaces users



**50GB**

Free tier for  
WorkSpaces users

# WorkDocs Webクライアントのユーザーエクスペリエンスを改善し、コメント機能を強化

- Webクライアントのデザインをリニューアルし、よりモダンで直観的なユーザーエクスペリエンスを提供
- ドキュメントへのコメント機能を強化し、コメントのスレッド化、フォーマット設定、メンション、プライベートコメントおよびフィードバックの無効化が可能に
- Webクライアントからドキュメントに対するアクセス権のリクエストが容易に可能



# WorkDocs同期クライアントのアップデートにより同期ステータスの通知とパフォーマンスの向上

- WindowsおよびMac版のWorkDocs同期クライアントで同期ステータスがリアルタイムで確認できるように
- “Shared with me”フォルダのファイルをローカルのコンピュータ上で削除することで同期をストップすることが可能に
- 同期のパフォーマンスを高速化し、CPUとメモリの消費量を削減



# Administrative SDKのパブリックプレビューが利用可能に

- JavaとPythonのSDKを提供
- ユーザー、フォルダ、ファイル、アクセス権に対する CRUD (Create/Read/Update/Delete) の実行
- IAMによるアクセス管理、CloudTrailでの監査
- Amazon SNSからのリアルタイム通知

# 例：ドキュメントのアップロード（抜粋）

```
// signed URLを使用したドキュメントのアップロード
URL url = new URL(uploadUrl);
URLConnection connection = (URLConnection) url.openConnection();
connection.setDoOutput(true);
connection.setRequestMethod("PUT");

// ここで指定するContent-TypeはInitiateDocumentVersionUploadリクエストにある
// Content-Typeと一致している必要がある
connection.setRequestProperty("Content-Type", "application/octet-stream");
connection.setRequestProperty("x-amz-server-side-encryption", "AES256");
File file = new File("/path/to/file.txt");
FileInputStream fileInputStream = new FileInputStream(file);
OutputStream outputStream = connection.getOutputStream();
com.amazonaws.util.IOUtils.copy(fileInputStream, outputStream);
connection.getResponseCode();
```

# API一覽

Users	Folders	Documents	Permissions	Notifications
<ul style="list-style-type: none"><li>• Create User</li><li>• Activate User</li><li>• Describe Users</li><li>• Update User</li><li>• Delete User</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Create Folder</li><li>• Get Folder</li><li>• Get Folder Path</li><li>• Update Folder</li><li>• Delete Folder</li><li>• Describe Folder</li><li>• Delete Folder Contents</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Get Document</li><li>• Delete Document</li><li>• Get Document Path</li><li>• Get Document Version</li><li>• Describe Document Versions</li><li>• Initiate Document Version Upload</li><li>• Abort Document Version Upload</li><li>• Update Document Version</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Add Resource Permissions</li><li>• Describe Resource Permissions</li><li>• Remove Resource Permission</li><li>• Remove All Resource Permissions</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Subscribe to Notifications</li><li>• Unsubscribe from Notifications</li></ul>

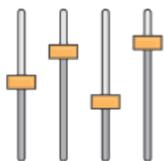


# Amazon WorkMailのメリット

- ライセンスへの初期投資とオンプレミス電子メールサーバーの展開の工数を削減
- WorkMailは自動的にパッチ管理、バックアップ、アップグレードを処理
- 既存のオンプレミスディレクトリとの統合
- AWSコンソールから数クリックでユーザーを追加



# Amazon WorkMailアップデート

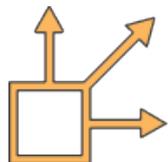


- Microsoft Exchange Serverとの相互運用性をサポート
- コンプライアンス要件を満たすためのメールのジャーナリング機能を追加



- WorkMail Webクライアントのユーザーエクスペリエンスを改善

- Microsoft Outlook 2016 for MacとIMAPクライアントをサポート

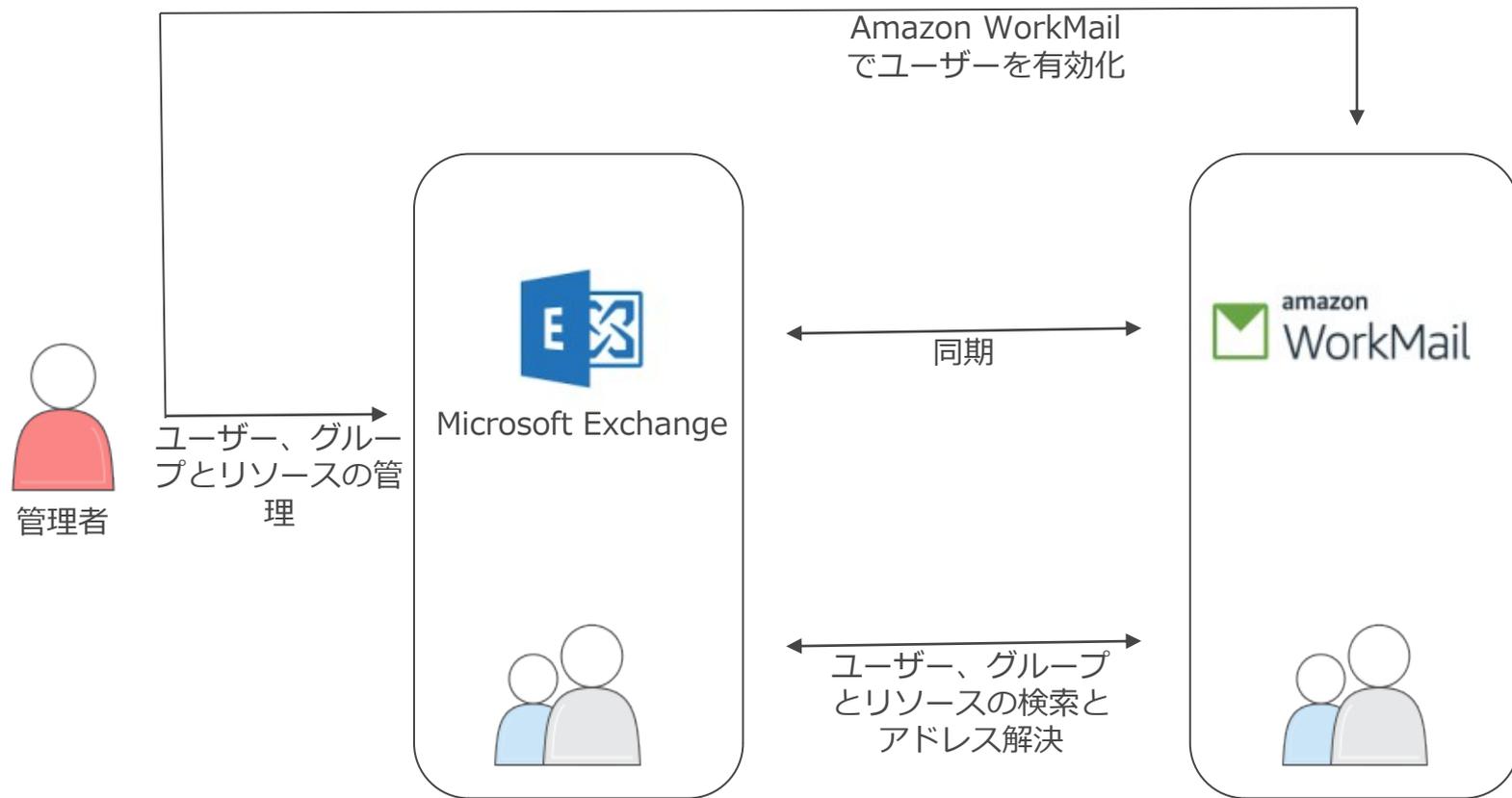


- 外部メールアドレスへのリダイレクトルールが設定可能に

# Microsoft Exchange Serverとの相互運用性をサポート

- Amazon WorkMailがMicrosoft Exchange Server 2010/2013との相互運用性をサポート
- メールボックスのWorkMailへの移行や既存環境との共存が可能
- 環境をまたがって共通のドメインを使用し、シームレスなミーティングのスケジュールやカレンダー情報の共有
- グローバルアドレス帳の共有が可能

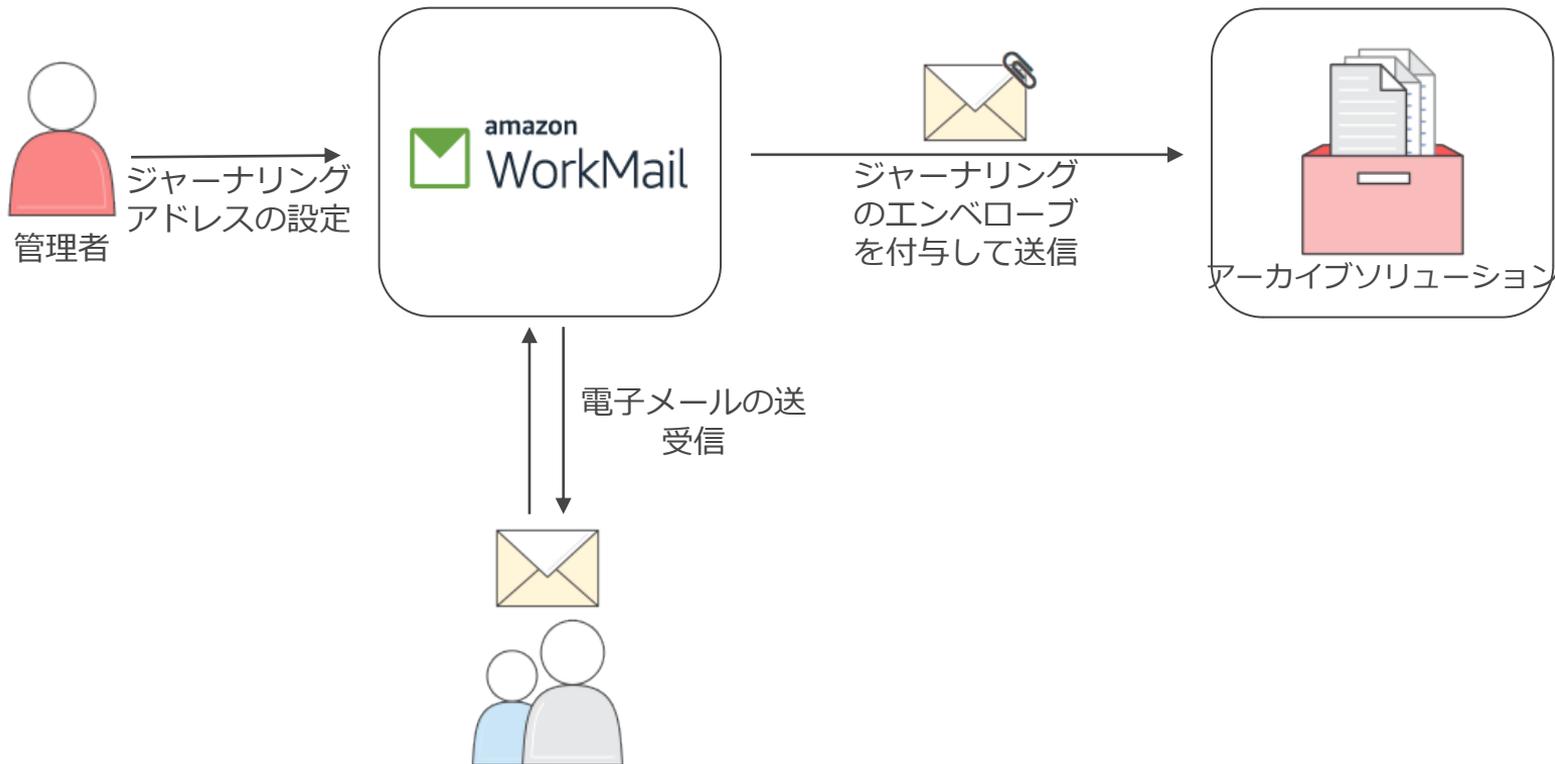
# グローバルアドレス帳の共有



# コンプライアンス要件を満たすためのメールのジャーナリング機能を追加

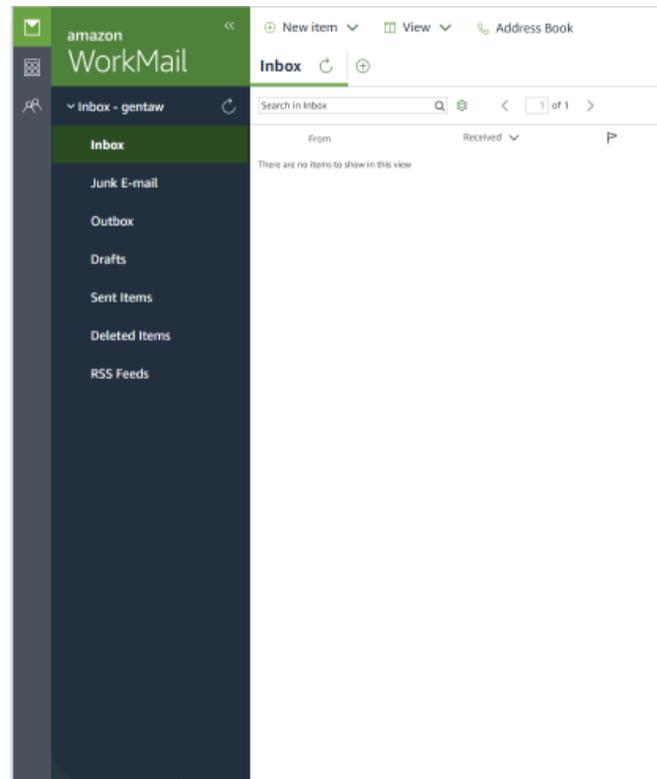
- SMTPによるジャーナリングをサポートしてAmazon WorkMail Organizationで送受信した電子メールをサードパーティのアーカイブおよびeDiscoveryツールとの統合が可能に
- プライバシー保護、データストレージと情報の保護に関するメールのコンプライアンス要件を保証
- ジャーナリングを有効にすると  
[amazonjournaling@yourorganization.awsapps.com](mailto:amazonjournaling@yourorganization.awsapps.com)から  
"journal record"と呼ばれるフォーマットで電子メールのコピーが送信される

# メールのジャーナリング



# WorkMail Webクライアントのユーザーエクスペリエンスを改善

- Webクライアントのデザインをリニューアルしてよりモダンなインターフェースを提供
- 階層とプレビューパネルのサイズをカスタマイズすることで画面にあわせてエクスペリエンスを最適化
- よく使用されるフォルダをフォルダリストの最上位に表示



# Microsoft Outlook 2016 for MacとIMAPクライアントをサポート



- Amazon WorkMailのクライアントとしてMicrosoft Outlook 2016 for Macをサポート
- IMAPをサポートすることで任意のメールクライアントからAmazon WorkMailにアクセスすることができるようになるだけでなくサードパーティのアプリケーション（CRM/チケットソリューションなど）との統合が可能に

# 外部メールアドレスへのリダイレクトルールが設定可能に

- Microsoft OutlookやWorkMail Webクライアントなどのメールアプリケーションから外部メールアドレスへのリダイレクトを設定することが可能
- この機能を有効にするにはAmazon Simple Email Service (SES)でAmazon WorkMail Organizationで使用しているドメインのIdentity Policyをアップデートする必要がある
- 2016/10/13以降に追加したドメインではデフォルトでこの設定が有効になっている

# まとめ

- Amazon Chimeはフラストレーションフリーの会議、ビデオ通話、チャットを実現するフルマネージドのサービス
- エンタープライズアカウントを作成することで自社のドメインの登録およびActive Directoryとの連携が可能
- Amazon WorkDocs/WorkMailとあわせてビジネスアプリケーションのためのソリューションを提供

# 参考資料

製品のホームページ (英語)

<https://chime.aws/>

ドキュメント (英語)

<https://aws.amazon.com/jp/documentation/chime/>

# 参考資料

- Amazon WorkDocs  
<http://aws.amazon.com/jp/workdocs/>
- Amazon WorkDocs Documentation  
<http://aws.amazon.com/jp/documentation/workdocs/>
- Amazon WorkMail  
<http://aws.amazon.com/jp/workmail/>
- Amazon WorkMail Documentation  
<http://aws.amazon.com/jp/documentation/workmail/>

# Q&A

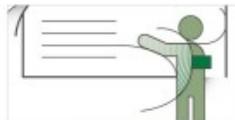


# オンラインセミナー資料の配置場所

- AWS クラウドサービス活用資料集
  - <http://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>
- AWS Solutions Architect ブログ
  - 最新の情報, セミナー中のQ&A等が掲載されています
  - <http://aws.typepad.com/sajp/>

## 日本語資料のカテゴリー一覧

本資料集では、この利便性を皆様にご利用いただけるよう、トレーニング、ソリューション/事例、プロダクト別、セキュリティ・コンプライアンス、その他という5つのカテゴリーで資料をご用意いたしております。



トレーニング資料

はじめてAWSをご利用いただくお客様向けに、AWS の概要、アカウント作成に関するご案内をいたします。



ソリューション・事例紹介資料

実際に他のお客様がどのようにAWS をご利用いただいているかをご覧いただける参考資料をご覧ください。



製品・サービス別資料

無料オンラインセミナー「AWS Black Belt Tech Webinar」や各種セミナーで紹介された、ソリューションアーキテクトによる各サービスの解説資料をご覧ください。

# 公式Twitter/Facebook AWSの最新情報をお届けします



@awscloud\_jp



検索

もしくは  
<http://on.fb.me/1vR8yWm>

最新技術情報、イベント情報、お役立ち情報、  
お得なキャンペーン情報などを日々更新しています！

# AWSの導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は以下のリンクよりお気軽にご相談ください

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>



The screenshot shows a web page for contacting the AWS Japan team. On the left is a navigation menu with 'お問い合わせ' (Contact Us) at the top, followed by '日本担当チームへのお問い合わせ' (Contact Us for the Japan Team) with a right-pointing arrow, and '関連リンク' (Related Links) with 'フォーラム' (Forum) below it. The main content area is titled '日本担当チームへのお問い合わせ' in orange. Below the title is a paragraph of text: 'AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。' (For customers who have questions about AWS cloud migration, request quotes, or request materials, please contact us via the form below. We will contact you from our Japan office staff during business hours on weekdays.) Below this are two lines of blue text: '※ご請求金額またはアカウントに関する質問はこちらからお問い合わせください。' (For questions about billing amounts or accounts, please contact us from here.) and '※Amazon.com または Kindle のサポートにお問い合わせはこちらからお問い合わせください。' (For support for Amazon.com or Kindle, please contact us from here.) A note says 'アスタリスク (\*) は必須情報となります。' (Asterisk (\*) indicates required information.) There are two input fields: '姓\*' (Surname) and '名\*' (Name), both with asterisks indicating they are required.

※「AWS お問い合わせ」で検索してください

# AWS Black Belt Online Seminar

## 今後の配信予定

- 3月14日(火) **12:00~13:00** Well-Architected Framework
- 3月15日(水) **18:00~19:00** Auto Scaling
- 3月22日(水) **18:00~19:00** Developer Tools (CodeX シリーズ)
- 3月28日(火) **12:00~13:00** 動画配信 on AWS
- 3月29日(水) **18:00~19:00** Amazon AI (Lex/Rekognition/Polly)



## 申し込みサイト

- <http://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/#webinar>

(もしくは「AWS イベント」で検索)

# 簡単なアンケートにご協力ください。



AWS  
**Black Belt**  
Online Seminar

画面に表示されるアンケートフォームに入力をお願いします。

- 皆様のご意見は、今後の改善活動に活用させていただきます。
- コメント欄には1行で自由な内容を書き込み下さい。

例)

- 本オンラインセミナーへのご意見
- 今後オンラインセミナーで取り上げて欲しい題材
- 発表者への激励

等々…

※Q&A同様に書き込んだ内容は主催者にしか見えません

**ご参加ありがとうございました**

